事業計画 (宮城県石巻市)

1. 海岸対策

① 海岸の状況

市内の地区海岸数 5 0 地区海岸 被災した地区海岸数 4 8 地区海岸 応急対策を実施した地区海岸数 1 9 地区海岸 本復旧を実施する地区海岸数 4 8 地区海岸

② 堤防高

9月9日に堤防高を公表※。

追 波 湾: T. P. 8. 4m(対象津波:明治三陸地震) 雄 勝 湾: T. P. 6. 4m(対象津波:明治三陸地震) 雄 勝 湾 奥 部: T. P. 9. 7m(対象津波:明治三陸地震) 牡鹿半島東部: T. P. 6. 9m(対象津波:明治三陸地震) 牡鹿半島西部: T. P. 6. 0m(対象津波:チリ地震)

万 石 浦: T.P. 2.6m (対象津波:チリ地震)

石 巻 海 岸: T.P. 7.2m (対象: 高潮)

※ 公表した堤防高を基本に、環境保全、周辺環境との調和、経済性、維持管理の容易性、施工性、公 衆の利用等を総合的に考慮して決定する。

③ 復旧の予定

復旧する施設の概要計画については、平成23年12月までに策定済み。

これに基づく本復旧工事の実施については、復興計画を踏まえ、他の事業との調整等を進めながら今後決定する。

本復旧の工事完了については、まちづくりや産業活動に極力支障が生じないよう、 計画的に復旧を進め概ね5年での完了を目指す。

④ 成果目標 平成23年度

著しく背後の安全度が低下している区間等から優先し、

- ・全ての被災した地区海岸において、平成23年12月までに復旧する施設の概要計画を策定*1した。
- ・1地区海岸において、本復旧工事に着工*2した。
- ※1 概要計画策定とは、災害査定のための概略設計の完了をもっていう。
- ※2 工事着工とは、復旧工事の工事契約等をもっていう。

⑤ 平成24年度の成果目標

- ・22の地区海岸において、本復旧工事の着工*を目指す。
- ※ 工事着工とは、復旧工事の工事契約等をもっていう。なお、上記目標には平成 23 年度に着工した 地区海岸を含む。

⑥ その他

- ・地区海岸毎の計画等については別添一覧表に記載。
- ・復興計画策定に際しては、最大クラスの津波(レベル2)も考慮し、必要に応じ、 津波浸水シミュレーション等を活用した支援を実施。

海岸保全施設の復旧にかかる事業計画

				施設の高	高さ (T.P)				1	复旧の予算	È					
市町村	地区海岸名	堤防護岸 延長 (m)	主な施設	被災前 現況高 (m)	被災後 復旧高 (m)	応急 対策	概要計画 策定	詳細計画策定	左記の 実施状況	工事着工	左記の 実施状況	工事完了	左記の 実施状況	H23予算での 実施内容	等 本工事 ** ** ** ** ** ** ** ** **	その他の場合に詳細を記載
石巻市	鮫の浦	322	護岸	4.50	4.50	ı	H23.11	H24	策定予定	H24	着工予定	H25 以降	完了予定	•概略設計	本工事	
石巻市	雄勝漁港	1,861	防潮堤、護岸	4.11	9.70	ı	H23.12	H25.3	策定予定	H25.4	着工予定	H27.3	完了予定	•概略設計	地権者等との調整	
石巻市	網地漁港	141	防潮堤	4.80	6.00	ı	H23.12	H25.3	策定予定	H25.4	着工予定	H27.3	完了予定	•概略設計	地権者等との調整	
石巻市	福貴浦漁港	165	防潮堤	3.25	6.00	-	H23.12	H25.3	策定予定	H25.4	着工予定	H27.3	完了予定	•概略設計	地権者等との調整	
石巻市	桃ノ浦漁港	437	堤防	4.42	6.00	-	H23.12	H25.3	策定予定	H25.4	着工予定	H27.3	完了予定	•概略設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	渡波漁港	726	防潮堤	6.20	7.20	-	H23.12	H24.11	策定予定	H24.12	着工予定	H27.3	完了予定	•概略設計	本工事	
石巻市	石巻漁港	596	防潮堤	6.20	3.10	完了	H23.12	H24.11	策定予定	H24.12	着工予定	H27.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計	本工事	
石巻市	北上漁港	268	護岸	4.10	6.50	_	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	長面漁港	2,590	護岸	2.60	8.40	-	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	名振漁港	390	護岸	3.30	8.40	-	H23.12	H24.10	策定予定	H25.3	着工予定	H28.3	完了予定	·概略設計 ·詳細設計	本工事	
石巻市	船越漁港	358	護岸	2.40	8.40	_	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	荒漁港	170	護岸	5.10	8.40	-	H23.12	H24.10	策定予定	H25.3	着工予定	H28.3	完了予定	·概略設計 ·詳細設計	本工事	
石巻市	小島漁港	373	護岸	3.60	6.40	完了	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	明神漁港	629	護岸	3.60	6.40	完了	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	水浜分浜漁港	597	護岸、防潮堤	3.60	6.40	完了	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	

				施設の高	高さ (T.P)				1	复旧の予定	È					
市町村	地区海岸名	堤防護岸 延長 (m)	主な施設	被災前 現況高 (m)	被災後 復旧高 (m)	応急 対策	概要計画 策定	詳細計画策定	左記の 実施状況	工事 着工	左記の 実施状況	工事 完了	左記の 実施状況	H23予算で <i>の</i> 実施内容	H24年度の 実施内容等	その他の場合に詳細を 記載
石巻市	十八成浜漁港	148	護岸	4.00	6.00	ı	H23.12	H24.10	策定中	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	•概略設計 •詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	小淵漁港	526	防潮堤	3.20	6.00	ı	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	給分漁港	255	護岸	4.00	6.00	_	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	大原漁港	377	防潮堤	4.00	6.00	完了	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	小網倉漁港	522	防潮堤	2.90	6.00	完了	H23.12	H24.10	策定予定	H25.3	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計 ·詳細設計	本工事	
石巻市	池/浜漁港	181	防潮堤	2.90	6.00	完了	H23.12	H24.10	策定中	H25.3	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計 ·詳細設計	本工事	
石巻市	侍浜漁港	150	防潮堤	4.70	6.00	_	H23.12	H24.10	策定予定	H25.3	着工予定	H28.3	完了予定	·概略設計 ·詳細設計	本工事	
石巻市	折ノ浜漁港	143	防潮堤	4.50	6.00	_	H23.12	H24.10	策定予定	H25.4	着工予定	H28.3	完了予定	·概略設計 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	小竹漁港	171	防潮堤	4.20	6.00	_	H23.12	H25.10	策定予定	H26.4	着工予定	H28.3	完了予定	•概略設計	一定の安全確保がされている ため他地区を優先	
石巻市	白浜	1,283	堤防、護岸、樋門	4.50	8.40	完了	H23.10	H24.12	策定中	H24.10	着工予定	H27.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	長塩谷立神	527	堤防、護岸、樋門	4.50	8.40	完了	H23.10	H24.12	策定中	H24.10	着工予定	H26.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	横須賀	754	堤防、護岸、突堤	3.00	8.40	_	H23.12	H25.3	策定中	H25.7	着工予定	H28.3	完了予定	•概略設計、詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	大谷川	458	堤防、護岸、防潮水門	6.20	9.10	完了	H23.11	H24.12	策定中	H24.12	着工予定	H27.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	谷川	575	堤防、護岸、防潮水門	4.50	9.10	-	H23.11	H24.12	策定中	H24.12	着工予定	H27.3	完了予定	・概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	大原	427	護岸	4.00	6.00	完了	H23.10	H24.8	策定中	H25.2	着工予定	H27.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	清水田	710	護岸	3.50	6.00	完了	H23.10	H24.8	策定中	H25.2	着工予定	H27.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	根組	113	護岸	6.20	6.00	-	H23.11	H24.8	策定中	H24.8	着工予定	H26.3	完了予定	•概略設計、詳細設計	本工事	

				施設の高	高さ (T.P)				1	复旧の予算	È					다. 다.
市町村	地区海岸名	堤防護岸 延長 (m)	主な施設	被災前 現況高 (m)	被災後 復旧高 (m)	応急 対策	概要計画 策定	詳細計画 策定	左記の 実施状況	工事着工	左記の 実施状況	工事 完了	左記の 実施状況	H23予算での 実施内容	H24年度の 実施内容等	その他の場合に詳細を 記載
石巻市	東侍浜	197	護岸	6.20	6.00	完了	H23.11	H24.8	策定中	H24.12	着工予定	H26.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	折立	737	護岸	2.60	2.60	完了	H23.11	H24.3	策定中	H24.7	着工予定	H26.3	完了予定	・応急復旧 ・概略設計・詳細設計 ・本工事(一部)	本工事	
石巻市	長浜	970	堤防、護岸	6.20	7.20	完了	H23.11	H24.12	策定中	H25.2	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	仁斗田	144	護岸	6.20	6.00	-	H23.11	H24.8	策定中	H24.10	着工予定	H26.3	完了予定	•概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	長渡	60	護岸	_	6.00	-	H23.11	H23.12	策定中	H23.10	着工済み	H24.6	完了予定	・概略設計・詳細設計 ・本工事	本工事	
石巻市	網地	52	護岸	1	6.00	-	H23.11	H24.8	策定中	H24.8	着工予定	H26.3	完了予定	•概略設計、詳細設計	本工事	
石巻市	雄勝港 立浜	586	護岸、胸壁、その他(水門、樋門、陸閘)	3.13	6.40	_	H23.11	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H28.3	完了予定	•詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	雄勝港 大浜	513	護岸、胸壁、その他(陸閘、水門)	4.13	6.40	完了	H23.11	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	雄勝港 小島	461	護岸	3.63	6.40	完了	H23.11	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	雄勝港 伊勢畑・明神	820	護岸、その他(陸閘、樋門)	4.13	9.70	完了	H23.11	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H28.3	完了予定	·応急復旧 ·詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	雄勝港 唐桑	922	護岸、胸壁、その他(陸閘、樋門)	3.63	9.70	_	H23.11	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H28.3	完了予定	•詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	雄勝港 浪板	114	堤防、その他(水門)	4.83	6.40	_	H23.11	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H28.3	完了予定	•詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	金華山港金華山	112	護岸	4.40	6.90	_	H23.11	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H28.3	完了予定	•詳細設計	一定の安全確保がされている ため他地区を優先	
石巻市	荻浜港 小積	417	護岸、その他(樋門、陸閘、水門)	4.53	6.00	_	H23.11	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H28.3	完了予定	•詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	荻浜港 荻浜	364	胸壁、護岸、その他(陸閘、水門、陸閘	4.53	6.00	_	H23.11	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H28.3	完了予定	•詳細設計	背後の復興計画の策定・調整 等	
石巻市	石巻港 雲雀野	1,517	護岸、離岸堤	4.53	7.20	完了	H23.7	H24d第1 四半期 以降	策定中	H24d第2 四半期 以降	着工予定	H26.3	完了予定	·応急復旧 ·詳細設計	本工事	

宮城県沿岸の地域海岸分割図

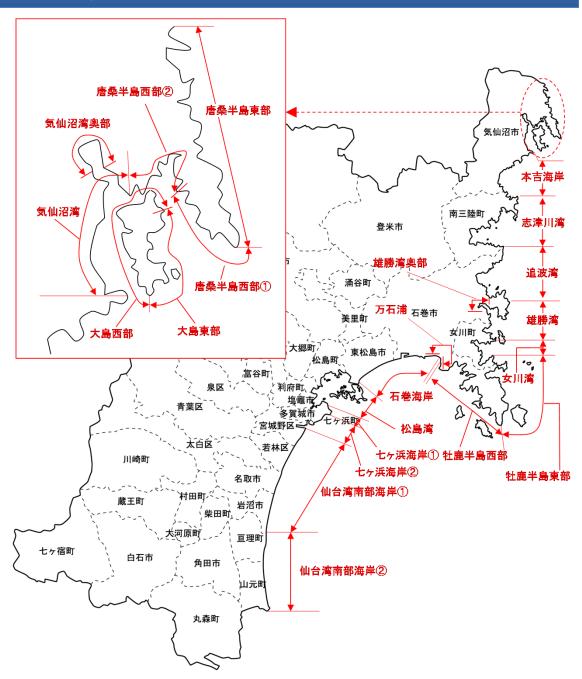
≪宮城県における地域海岸の考え方≫

以下の点を考慮し、同一の津波外力を設定しうると判断される一連の区間を地域海岸として設定

- 1)湾毎の区分を基本とし、半島や離島の遮蔽 効果も考慮して区分
- 2) 湾奥部における増幅等が顕著な場合は、外湾と内湾を区分。
- 3)砂浜海岸は、大河川の土砂供給や沿岸漂砂の特性により区分。



宮城県沿岸を22の地域海岸に分割



2. 河川対策

【国管理河川(旧北上川)】

- ① 旧北上川*1では、石巻市で143箇所(旧北上川では153箇所)の堤防の亀裂、 沈下や護岸の崩壊等の被災があり、平成23年6月末までに、全ての箇所において被 災前の堤防形状までの応急対策を完了済。平成24年3月末時点で133箇所につい て、被災前と同程度の安全水準を確保する本復旧を完了済。
- ② 被災した箇所については、本復旧が終わっていない残りの10箇所全てにおいて、 平成24年出水期(6月頃~)までに、被災前と同程度の安全水準(地盤沈下分を含む)を確保する本復旧を完了予定。さらに、液状化対策については、地盤改良等を継続実施し平成24年度中に完了予定。
- ③ 平成23年9月9日に直轄河川にかかる河口部の海岸堤防の高さを公表。

石巻港海岸: TP7.2m

平成23年12月27日に河口部の河川堤防高の設定(案)を作成し、石巻市に提示。

旧北上川河口部: TP7.2m (新計画堤防高)

- ④ 今後津波の遡上が想定される区間については、海岸堤防の整備計画及び市町村が策定する復興計画と整合を図りながら、津波対策等として必要な高さの堤防を逐次整備し、平成27年度内を目途に全箇所を完了させることを目標とする。また、同区間について、水門等の機能が確実に発揮されるよう、耐震化、自動化及び遠隔操作化の対策を袋谷地地区等で実施するとともに、堤防の液状化のおそれがある水押地区等について対策を実施。
- ⑤ 地盤沈下により、浸水リスクが増大していることから大雨等による家屋等の浸水被害に備え、排水ポンプ車を機動的に運用できるよう増強配備し、運用体制を整えるとともに、住民の円滑な警戒避難を支援するため、浸水リスクマップの作成・公表や浸水センサー(6箇所)を設置し、リアルタイムの浸水関連情報を提供。また、平成23年出水期より避難判断水位等を引き下げるなど警戒避難体制を強化。
- ⑥ 平成23年度における成果 堤防で被災した箇所のうち、
 - ・平成24年3月末までに、133箇所については、被災前と同程度の安全水準(地盤沈下分を含む)を確保し、本復旧を完了
 - ・残りの10箇所の全てについても、本復旧工事に着手。

旧北上川の河口部の河川堤防高の設定(案)を作成し、石巻市に提示

⑦ 平成24年度の成果目標

堤防で被災した箇所について、平成23年度に引き続き、本復旧工事を実施し、平成24年出水期(6月頃~)までに、全ての箇所について被災前の同程度の安全水準(地盤沈下分を含む)を確保する本復旧を完了予定。さらに、液状化対策については、地盤改良等を継続実施し、平成24年度までに完了予定。

今後津波の遡上が想定される区間における袋谷地地区等について、水門等の耐震化、 自動化及び遠隔操作化、堤防の液状化対策を実施し、袋谷地地区の水門等の耐震化、 及び大瓜地区の水門等の自動化及び遠隔操作化については、平成24年度中に完了予 定。

【国管理河川(北上川)】

- ① 北上川*1では、石巻市89箇所(北上川では213箇所)で堤防の決壊、亀裂や沈下、護岸の崩壊等の被災があり、平成23年6月末までに、河口部右岸の長面地区を除き被災前の堤防形状までの応急対策を完了。平成24年3月末時点で、81箇所については、被災前と同程度の安全水準を確保し本復旧を完了。
- ② 被災した箇所については、本復旧が終わっていない残りの8箇所のうち、長面地区と月浜地区の2箇所を除き、平成24年出水期(6月頃~)までに被災前と同程度の安全水準(地盤沈下分を含む)を確保する本復旧を完了予定。さらに、液状化対策については、地盤改良等を継続実施し平成24年度中に完了予定。
- ③ 長面地区については、地盤沈下により広範囲に農地が水没しており、地域の復旧・ 復興方針について地域や関係機関との合意形成を図るのに時間を要した地区(H24.3 までに完了)。工事発注の準備が整い次第、復旧工事に着手予定。
- ④ 月浜地区については、応急対策は完了しているが、現況堤防が地元の災害復旧工事のための道路(兼用)として活用されていることや被災地区で集団移転の検討もなされていることから、本復旧に当たっては道路協議や地域との合意形成が必要な地区。調整が整い次第、復旧工事に着手予定。
- ⑤ 平成23年9月9日に直轄河川にかかる河口部の海岸堤防の高さを公表。 追波湾:TP8.4m

平成23年12月27日に河口部の河川堤防高の設定(案)を作成し、石巻市に提示。

北上川河口部: TP8.4m (新計画堤防高)

- ⑥ 今後津波の遡上が想定される区間については、海岸堤防の整備計画及び市町村が策定する復興計画と整合を図りながら、津波対策等として必要な高さの堤防を逐次整備し、平成27年度内を目途に全箇所を完了させることを目標とする。また、同区間について、水門等の機能が確実に発揮されるよう、耐震化、自動化及び遠隔操作化の対策を月浜地区等で実施するとともに、堤防の液状化のおそれがある橋浦地区等について対策を実施。
- ⑦ 地盤沈下により、浸水リスクが増大していることから大雨等による家屋等の浸水被害に備え、排水ポンプ車を機動的に運用できるよう増強配備し、運用体制を整えるとともに、住民の円滑な警戒避難を支援するため、浸水リスクマップの作成・公表や浸水センサー(1箇所)を設置し、リアルタイムの浸水関連情報を提供。また、平成23年出水期より避難判断水位等を引き下げるなど警戒避難体制を強化。
- ⑧ 平成23年度における成果 堤防で被災した箇所のうち、
 - ・平成24年3月末までに、81箇所については、被災前と同程度の安全水準(地盤沈下分を含む)を確保し、本復旧を完了
 - ・残りの8箇所の全てについても本復旧工事に着手。 北上川の河口部の河川堤防高の設定(案)を作成し、石巻市に提示
- ⑨ 平成24年度の成果目標

堤防で被災した箇所について、平成23年度に引き続き、本復旧工事を実施し、平成24年出水期(6月頃~)までに、全ての箇所について被災前の同程度の安全水準(地盤沈下分を含む)を確保する本復旧を完了予定。さらに、液状化対策については、地盤改良等を継続実施し、平成24年度までに完了予定。

今後津波の遡上が想定される区間における月浜地区等について、津波対策等として必要な高さまでの堤防整備、水門等の耐震化、自動化及び遠隔操作化、堤防の液状化対策を実施し、追波川地区等の水門等の耐震化、自動化及び遠隔操作化、及び三輪田地区等の堤防の液状化対策については、平成24年度中に完了予定。

【県·市町村管理区間】

① 1級水系北上川水系、2級水系大原川水系など*1の県・市管理区間では、全箇所の 災害査定を完了し、31箇所*2で災害復旧事業を予定。そのうち、施設の被災及び背 後地の状況に応じて緊急度の高い8箇所については大型土のう積み等による応急対 策を完了。

本復旧については、平成23年度内に、設計、地元調整等の施工準備が整った1箇 所で着手し、完了済み。 ② 平成24年度に、新たに28箇所で本復旧に着手予定(累計29箇所)。 また、平成24年度内に18箇所(累計19箇所)で本復旧完了予定。

残る箇所についても、順次、本復旧に着手し、海岸堤防の整備計画及び市が策定する復興計画等と整合を図りながら逐次整備。概ね5年を目途に全箇所完了させることを目標とする。(まちづくりと一体となって実施する区間については、まちづくりと堤防整備の調整を図りながら実施。)

併せて、堤防において液状化のおそれがある箇所については対策を実施。

また、今後津波の遡上が想定される区間については、水門等の機能が確実に発揮されるよう、耐震化、自動化及び遠隔操作化の対策を実施。

- ③ 平成23年度における成果
 - ・全箇所(31箇所)で災害査定を完了
 - ・1箇所で本復旧に着手
 - ・1箇所で本復旧を完了
- ④ 平成24年度の成果目標
 - ・新たに、28筒所で本復旧に着手予定(累計29筒所)。
 - ・本復旧の完了予定は、以下の通り平成24年度末まで : 18箇所(累計19箇所)
 - ※1 位置図を参照
 - ※2 一連区間の取扱い方等により、箇所数は変動しうる



3. 農地・農業用施設

① 被災状況

津波により約 2,640ha の農地及び排水機場、排水路等の基幹的農業用施設に甚大な 被害

② 施設の復旧

〇 応急復旧状況

柳ノ目排水機場、幹線排水路等の基幹的排水施設について実施済み。

〇 本格的な復旧 復興計画を踏まえて着手し、概ね4年以内の完了を目指す。

③ 農地の復旧

概ね3年以内の復旧を目指す。

- 平成 23 年度当初から既に営農が可能な農地 約 960ha (蛇田、稲井地区等)
- 平成 24 年度から営農が可能な農地(現在復旧中の農地を含む) 約 640ha(長 尾地区等)
- 〇 平成 25 年度以降、順次、営農再開を目指す農地 約 990ha
- 〇 海水が浸入しているため、復旧に時間を要する農地 約60ha (大川地区220haの内数)

(大川地区の状況)

- ・仮締切堤防の設置により、約 20ha の農地の湛水は解消。現在、河川堤防の仮復 旧及び仮設道路の施工が進められているところであり、施工完了後、県が排水機 場の復旧工事に着手し、約 140ha の農地において地区内排水を実施する予定。
- ・並行して、関係機関にて、被害が甚大な農地約 60ha の復旧方針について、地域の意向把握や話し合いを進めていく。

現時点における農地復旧の見通しを示したものであり、今後の地元調整等により、面積は変わり得るもの。

④ 区画整理等検討状況

北上地区等において、大区画化等の区画整理が検討されているところ。

4. 海岸防災林の再生

- ① 箇所名: 旧雄勝町他
- ② 海岸防災林の林帯 19.4h a、防潮工 1,560mが被災。
- ③ 防潮工の本復旧については、本年度中に着手予定。
- ④ 林帯地盤についての本復旧は、概ね5年で完了させ、樹木の植栽は、林帯地盤の 復旧後、防風工等の施工が完了した箇所から順次実施し、概ね5年度で完了させる こととし、全体の復旧を概ね10年で行うことを目指す。

(保全対象:国道398号線、県道2号線他、農地、人家(雄勝地区他)

5. 漁港

① 被害状況

漁港数:44漁港

被災漁港数: 44漁港

② スケジュール

石巻市内の各被災42漁港において、平成23年度末時点で、潮位によっては、岸壁の使用が可能となっている。(宇島漁港及び大原漁港は係留施設なし)

今後、漁港間での機能集約と役割分担の取組みを図りつつ、地域一体として必要な機能を早期に確保すべく、平成27年度中に漁港施設の復旧の完了を目指す。

6. 復興住宅(災害公営住宅)

- ① 地区名:湊、大街道西三丁目、流留、黄金浜①、黄金浜②、大街道西二丁目、駅前 北通り一丁目、南光町一丁目、大街道北三丁目、向陽町、鹿妻、蛇田境谷地、蛇田二 番谷地、南中里一丁目、本庁
- ② 平成 23 年度から用地の選定や整備手法等、災害公営住宅の整備に向けた準備を進めており、東日本大震災復興交付金を活用し、用地の取得造成や調査設計等に順次着手していく予定。
- ③ 平成 24 年度の成果目標 用地取得、設計、工事を順次行う。

7. 復興まちづくり

- (1) 防災集団移転促進事業
- ① 集団移転促進事業計画の策定済地区:

本庁地区(うち鹿立浜地区、桃浦地区、竹浜地区)

牡鹿地区(うち小網倉浜・清水田浜地区、給分浜地区、十八成浜地区、鮫 浦地区、前網浜地区)

雄勝地区(うち名振地区、船越地区、熊沢・大須地区)

北上地区(うち小室地区、小指地区)

集団移転促進事業計画の策定準備中地区:

本庁地区、牡鹿地区、雄勝地区、北上地区

- ② 東日本大震災復興交付金を活用して、平成23年度から集団移転促進事業計画案作成に向けた調査を開始。集団移転促進事業計画の策定、住民の合意形成等の事業化に向けた準備が整った地区において事業に着手。
- ③ 平成24年度の成果目標 集団移転促進事業計画の案の作成のための測量・設計等を行う。
- (注)集団移転促進事業計画の策定済地区とは、集団移転促進事業計画について国土交通大臣の同意を得た地区、又は復興整備計画協議会で復興整備計画に記載しようとする集団移転促進事業に関する事項について、国土交通大臣の同意を得た地区をいう。
- (2)土地区画整理
- ① 地区名:釜•大街道地区、門脇地区、湊地区、新蛇田地区、新渡波地区
- ② 東日本大震災復興交付金を活用して、平成24年度から事業計画案作成に向けた 調査を開始。事業計画の決定、住民の合意形成等の事業化に向けた準備が整った地 区において事業に着手。
- ③ 平成24年度の成果目標 調査・設計を行う。
- (3) 学校施設等
- ① 幼稚園・小中高等学校等
- (i)公立学校

<石巻市立学校>

東日本大震災により被災した市立学校のうち、公立学校施設の災害復旧に係る国庫補助申請予定の43小学校、21中学校、2高等学校、5幼稚園、6共同調理場について、以下のとおり早期の復旧を目指す。

〇 比較的軽微な被害に留まる 51 施設については、平成 23 年度に事業着手し、うち 16 施設(桃生幼・蛇田小・石巻中・住吉給・河北給・河南給・荻浜小・橋浦小・二 侯小・飯野川中・飯野川第一小・飯野川第二小・広渕小・須江小・前谷地小・北村 小)の現地調査、10 施設(桃生幼・蛇田小・石巻中・住吉給・河北給・河南給・荻 浜小・橋浦小・二俣小・飯野川)の補助申請、4 施設(桃生幼・住吉給・河北幼・河南給)の復旧を完了した。

その他の施設については、平成24年度内の復旧完了を目標とする。

〇 津波等の甚大な被害を受けた門脇小、湊小、湊第二小、渡波小、大川小、雄勝小、 船越小、相川小、吉浜小、谷川小の 10 小学校、湊中、渡波中、大川中、雄勝中の 4中学校、市立女子商業高、湊幼稚園は、机イス等の備品、教材の整備、応急仮設 校舎の建設を計画的に進めつつ、学校の統廃合、高台等への移転を含めた総合的な 検討を踏まえながら、平成 24 年3月に策定した市の学校施設災害復旧整備計画に 基づき、早期事業着手、復旧完了を目指す。

また、山下小、向陽小、万石浦小、大谷地小の4小学校の屋内運動場は、地震による甚大な被害を受けており、平成 23 年度から実施している設計調査を踏まえながら、早期事業着手、平成 25 年度の復旧完了を目指す。

- 〇 湊小、渡波小、湊中、の3校については、校舎等の本格復旧に向けて、平成23年度に設置した応急仮設校舎を使用し、平成25年度内の復旧完了を目標とする。また、津波被害を受け、移転も含めた総合的な検討が必要となる門脇小、大川小、雄勝小、渡波中、雄勝中、市立女子商業高、湊幼稚園の6校1園については、3施設の応急仮設校舎を建設、着手し、机イス等の備品整備を進め、計画的に、高台等への移転を含めた総合的な検討を踏まえながら、平成24年3月に策定した石巻市立学校施設災害復旧整備計画に基づき、平成28年度までに復旧完了を目標とする。
- 〇 谷川小は大原小に平成 24 年 4 月、船越小は雄勝小に、大川中は河北中に平成 25 年 4 月、湊第二小は湊小に平成 26 年 4 月にそれぞれ統合する。
- 相川小、吉浜小及び橋浦小の3校を新設校として統合する。(時期は未定)
- 共同調理場については住吉、河南、河北、牡鹿給食センターの復旧を完了し、津 波被害を受け、移転も含めた総合的な検討が必要となる湊、渡波給食センター整備 計画を策定し、早期事業着手、復旧完了を目指す。

<県立学校>

石巻市に所在する県立学校のうち、東日本大震災により被災し、公立学校施設の災害復旧に係る国庫補助に申請した、または申請予定の7校のうち1校については、平成23年度に事業着手し復旧した。

- 〇 残る6校のうち5校については、平成23年度内の事業着手、平成24年度内に復 旧完了する予定。
- 〇 津波により被害を受け、かつ周辺地域が地盤沈下した 1 校については、現在の校舎を改修した上で、平成 24 年度中に復帰し、その後、平成 25 年度から現在の校地内で新校舎の建設に着手し、平成 29 年度末に完成を予定している。

(ii) 私立学校

東日本大震災により被災した私立学校のうち、私立学校施設の災害復旧に係る国庫 補助を申請した3校及び申請予定の2校について、以下のとおり、早期の復旧を目指 す。

- 〇 比較的軽微な被害に留まる3校については、うち2校が平成23年度中に復旧完了しており、他の1校は平成24年8月末日の復旧完了を目標としている。
- 〇 津波被害を受け、移転も含めた総合的な検討が必要となる石巻みづほ第二幼稚園 及び長浜幼稚園の2校については、平成24年度から平成25年度中の 復旧場所 の確定、平成26年度末までに復旧完了を目標としているが、道路や防波堤等の建 設計画の策定時期が不明瞭であるため、復旧完了が平成27年度以降にずれ込む可 能性もある。
- 〇 被災した石巻みづほ第二幼稚園及び長浜幼稚園については、関係者の意向を踏ま え、認定こども園としての復旧を目指す。

② 大学等

(i) 私立大学

東日本大震災により被災した私立大学のうち、私立学校施設の災害復旧に係る国庫 補助に申請のあった1校については、平成23年度内に事業着手し、復旧完了した。

③ 公立社会教育施設(公立社会体育施設と公立文化施設を含む)

<石巻市立社会教育施設>

東日本大震災により被災した市立社会教育施設のうち、公立社会教育施設の災害復旧に係る国庫補助に申請予定の 28 施設について、以下のとおり、早期の復旧を目指す。

- 比較的軽微な被害に留まる 14 施設のうち、石巻中央公民館、渡波公民館及び稲井公民館は平成 23 年度内に復旧を完了した。他の施設については平成 24 年度内に事業計画書を提出し、平成 24 年度内の復旧完了を目標とする。
- 〇 甚大な被害(津波被害)を受け、移転も含めた総合的な検討が必要となる 14 施設については、平成 23 年 12 月に当市の復興基本計画が策定されたので、当該計画を踏まえ、復旧場所の移転を含め検討・確定し、早期に本格復旧に着手する。
- O 雄勝公民館、北上公民館、荻浜公民館の復旧については、地域の状況を踏まえながら、それぞれ総合支所、支所との一体的整備を目指す。

- 牡鹿公民館については、牡鹿体育館との一体的整備を目指す。
- O 雄勝硯伝統産業会館については、新しいまちづくり計画の中に整備計画を盛り込みながら、復興基本計画策定後の早期復旧を目指す。
- 〇 市民会館及び文化センターの復旧については、平成23年12月に当市の復興基本計画の中で、「博物館機能・文化ホール機能を持つ、文化活動の拠点として整備計画を策定し、市民生活の復興に努める。」として、記載されている。

文化センターは、現在、河口部にあり、周辺は非居住地域となり、隣接の市立病院も移転が確実であることから、同センターについても移転の方向で検討される見込みである。

また、市民会館に関しても昭和 42 年の建築であり、補修は困難である上、現在の文化芸術事業のニーズを満たしている建物ではないため、新築が必要であり、移転の可能性もある。

事業時期等に関しては、早期の着手が望まれているが、復興計画がまだ策定途中であることもあり、現時点では、未定である。

<県立社会教育施設>

石巻市に所在する社会教育施設のうち、東日本大震災により被災し、公立社会教育施設の災害復旧に係る国庫補助に申請予定の1施設について、以下のとおり早期復旧を目指す。

〇 甚大な被害を受けた宮城県慶長使節船ミュージアムについては、平成 23 年度に 事業着手、平成 26 年 3 月末までの復旧完了を目標とする。

8. 土砂災害対策

①箇所名:鹿妻地区^{※①}、鰒取沢^{※②}、泊浜地区^{※③}、八幡町地区^{※④}

- ②平成23年8月末までに、市内約1,170箇所の土砂災害危険箇所の点検を実施し、約130箇所で斜面の変状等を確認。降雨等により二次的な被害の恐れがある箇所等、必要に応じ土のう積みや観測等の応急対策を実施。(降雨の状況等を考慮し、随時再調査等を実施。)
- ③これまでの強い地震動により崩壊が発生するなど危険な状態となっている産妻地区、 はままんちょう 八幡町地区、及び地盤が緩み少量の降雨でも崩壊等が発生するおそれがあり、重要 な保全対象を有している鰒取沢、泊浜地区の緊急的な土砂災害対策について、平成 24年梅雨期までを目途に概ね完了予定。
- ④最大震度6強を観測した石巻市では、地震により地盤が脆弱になっている可能性が高く、降雨による土砂災害の危険性が通常よりも高いと考えられるため、県と気象台が連携し、平成23年3月より土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用している。 今後の降雨と土砂災害発生状況を考慮し、発表基準の適切な見直しを実施。
- ⑤平成23年度における成果

崩壊が発生した鹿妻地区の緊急的な土砂災害対策に着手

地盤が緩んでいる鰒取沢、泊 浜地区の緊急的な対策に着手

- ⑥平成24年度の成果目標
 - の鹿妻地区、八幡町地区

緊急的な土砂災害対策について平成24年梅雨期までを目途に概ね完了予定。

平成24年梅雨期までを目途に重要な保全対象を有している地区の緊急的な土砂災 害対策を完了予定。

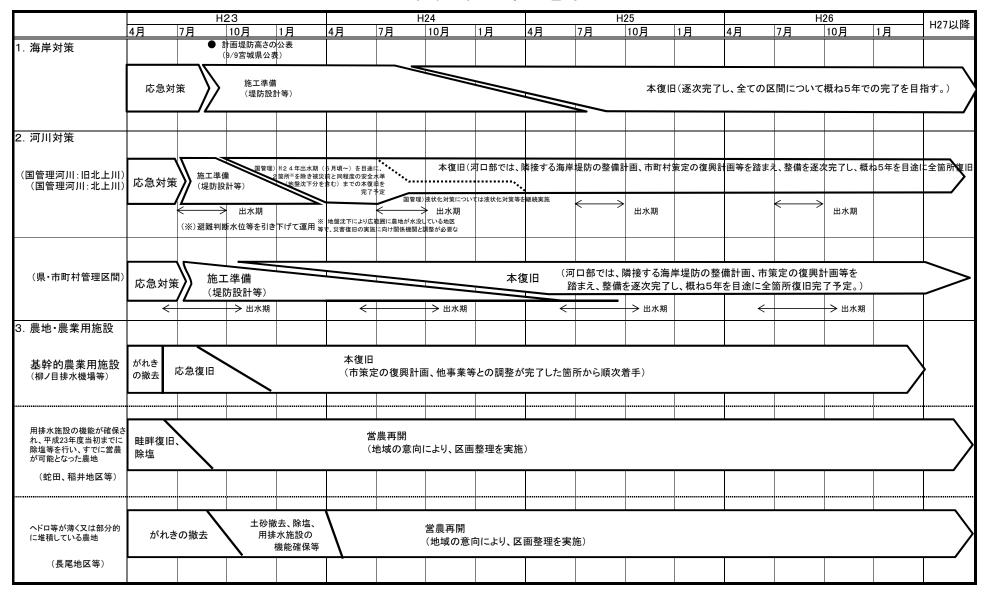
※位置図を参照



9. 災害廃棄物の処理

- ① 東日本大震災においては、地震による大規模な津波及び地震による建物の倒壊等により膨大な量(6.163 千トン)の災害廃棄物が発生。
- ② 現在住民が生活している場所の近くの災害廃棄物については、平成 23 年8月までに仮置場へ概ね搬入した。今後は浸水状態である農地内災害廃棄物、重機作業が困難な場所の海中災害廃棄物等の撤去が必要となるため、その他の災害廃棄物の仮置場への移動を平成 25 年 3 月までを目途に完了させる。なお、平成 24 年 4 月 2 日現在、全ての災害廃棄物の 49%の仮置場への移動を完了している。
- ③ 損壊家屋等の解体により生じる災害廃棄物の仮置場への移動については、解体を要する棟数が膨大なため平成25年3月までを目途に完了させる。
- ④ また、中間処理・最終処分については、腐敗性等がある廃棄物を速やかに処分しつつ、平成 26 年3月までを目途として処分を行う。なお、木くず、コンクリートくずほか再生利用を予定しているものについては、劣化、腐敗等が生じない期間で再生利用の需要を踏まえつつ適切な期間を設定する。

工程表(宮城県石巻市)



		Н	23			ŀ	124			ŀ	125				H26		11071217/7							
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	H2/以降							
上記以外の農地	がれきの	の撤去		土砂村	順次営農再開放去、除塩、畦畔の復旧等																			
(注)抽般冲下竿に] - 1.海 水 がき		ス典地や	十尺両ル領	 きのて恵 <i>た</i>	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	ついて	数供の宝マ	/	スレナンス担合	・がちる				L									
										たいの物口	いめる。													
本工程は、彼次し	ノに辰地で原 	示形1复1口9 │	る場合の. 	上住を快割 	し、呂辰冉 	一で日1日	9 吋朔で7	示したもの。 	1	I		1	1	I	Ī									
4. 海岸防災林																								
																	$\overline{}$							
		林帯地盤の復旧 → 防風工等の施工が完了した箇所から順次植栽を実施 (概ね5年で完了) (全体の復旧を概ね10年で完了) 大型定置網																						
																	_							
5. 漁港·漁場·養殖施記 (1)漁港	设·大型定置 	登網 																						
	23年12	」 月にがれき抗	y去完了	>				27年	度末までに漁	港施設の復旧	日の完了を目	指す												
6. 復興住宅(災害公営	住宅等)																							
		住宅復の策定	理計画 注						_	▲ 	 oたものから 	順次、用地	 取得、設計、 	▲工事着手	 、管理開 		·							
7. 復興まちづくり (1)防災集団移転促	上 上進事業 																							
				1	月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 1月																			
(2)土地区画整理事	· 業				-				の事業化に	向けた準備	が整ったり	也区におい	いて事業に就	手		1月 H27以降								
						7 – – –	Γ	7	- F ·	7	Τ		. L	<u> </u>	- T	7	Γ-/							

			H23				H24				H25			H26				
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	H27以	
(3)学校施設等																		
幼稚園・小中高等	」 等学校等																	
<市立学校>																		
比較的軽微な被 害に留まる学校 の復旧				校舎等(の本格征	复旧			>									
甚大な被害を受 けた学校の復旧	4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 1月																	
<県立学校>																		
比較的軽微な被 害に留まる学校 の復旧				現在の	校舎の	改修			<u></u>	' ⁻								
<私立学校>																		
比較的軽微な被 害に留まる学校 の復旧			校舎等	手の本格?	复旧													
基大な被害を受 けた学校の復旧		応急伽	10月 1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 1月 1月 1月 1月 1月 1月	担	<u> </u>													
			}	※津波による	る被害を受	けた石巻	みづほ第二	幼稚園及7	び長浜幼科	量につい	ては、平成2	5年度中に	復旧場所	を確定する	とともに、			
大学等 <私立学校>																		
比較的軽微な被 害に留まる学校 の復旧			校舎等	の本格復	夏旧		>											

